

# CASE STUDY 5

金属製品製造業

## 光栄テクノシステム株式会社

所在地 福岡市東区松島6-15-30



公式サイト



テーマ

コミュニケーションツールで仕事をスムーズに  
部署間の連絡不備を解消し、タスク管理によるトラブルゼロへ

### 支援前の課題

#### 部署間の連絡不備

部署間の連絡が不十分なためトラブルや進捗の不透明さが発生し、対応の遅れや二度手間が生じていた。

#### 役割分担の不明確さ

展示会など社内プロジェクトで誰が何をいつまでに行うかが曖昧で、抜け漏れや遅延が繰り返されていた。

#### ITリテラシーの差

アナログ業務からの脱却とITリテラシーの底上げが急務だったが、社内で推進できる人材が不足していた。

### 支援内容・プロセス

01

#### 現状課題確認と目標設定

経理改善や部署間の連絡不備をヒアリング。DX推進による業務効率化のゴールイメージを共有。

02

#### 幹部共有とツール選定

営業・製造間の情報共有不足を解消するため、ChatworkとBacklogの導入検討を開始。

03

#### 少数チームでの試験運用開始

特定プロジェクトでBacklogを試行。タスクの納期・担当者の明確化による効果を検証。

04

#### 業務フロー可視化とタスク化

展示会準備等のフローを整理。「誰が何をいつまでに」をツール上で管理する習慣を定着。

05

#### 振り返りと全社展開計画

代理店案件での活用定着を確認。ITセキュリティ強化と全社的な有料版導入の方針を決定。

### 支援後の成果と今後の展望

Backlog使用率

導入後 **50%**

トラブル件数

**低減**

タスク管理

**社内浸透**

代理店とのやり取りにBacklogが定着（使用率50%）し、タスク管理の浸透でトラブルが低減。今後はITセキュリティのさらなる強化と、全案件でのプロジェクト管理徹底を目指す。